

角田第九



昨年の12月16日に角田市のかくだ田園ホールで開催された、佐藤寿一さんの指揮による毎年恒例の「角田：ベートーヴェン第九『喜びのうた』を歌おう会」の皆さんの演奏会に参加してきました。

今年は、合唱団の人数がほぼ100人という、とても充実した声楽陣のバックで、オーケストラものびのびと演奏できたのではないのでしょうか。

残念なことに、もろもろの事情でフル・オーケストラとの共演は今回が最後になってしまうそうで、20年以上続いたニューフィルとの共演は、これが最後となってしまいました。



長年続いた素朴なお弁当（左）のほかに、今回は別のタイプも加わり、どちらかが選べるようになっていました。

+

(17)

16版

みやぎ

(第三種郵便物認可)

河

美しいハーモニーを奏でた歌おう会の公演



喜びの歌

高らかに

角田で「第九」

角田市の師走の恒例行事、「角田ベ
ートーベン第九『喜びのうた』を歌お
う会」の第27回公演が16日、同市のか
くだ田園ホールであった。同市や岩沼
市などから計約120人が参加。仙台
ニューフィルハーモニー管弦楽団の演
奏に乗り、年の瀬の角田に歓喜の歌を
響かせた。

第1部で子ども合唱団23人が大人と
一緒に、冬の歌のメドレーを披露。第
2部の第九は合唱とオーケストラが調
和し、聴衆約400人を魅了した。仙
台市のアルト歌手高山圭子さん、山形
市のバス歌手鈴木集さんら東北各地の
ソリストが集結し、花を添えた。

両親と出演した柴田町船迫小6年我
妻風芽さん(11)は「ハーモニーがまと
まっていて、とても楽しかった」と話
した。

みやぎ

本番の翌日には、コンサートの紹介記事が河北新報に掲載されました。